

土木フェスタ in マリンポート 2018 開催される！

「土木フェスタ in マリンポート 2018」(主催・(一社)鹿児島県建設業協会・鹿児島県建設業協会青年部会)が11月18日(日)、鹿児島市のマリンポートかごしまで、建設事業イメージアップ連絡協議会((社)土木学会西部支部、国土交通省鹿児島国道事務所、国土交通省鹿児島港湾・空港整備事務所、鹿児島県、鹿児島市、西日本高速道路(株)鹿児島高速道路事務所、鹿児島県測量設計関連団体協議会)、(公財)鹿児島県建設技術センター、鹿児島県港湾漁港建設協会、(一社)鹿児島県電設協会、鹿児島県市町村社会基盤整備推進協議会、鹿児島県建設業協同組合連合会及び鹿児島県舗装協会等の後援を得て開催された。

11月18日の「土木の日」の行事の一環として、土木に対するイメージアップを図るとともに、業界の喫緊の課題である「建設業の将来の担い手確保・育成」に寄与する目的で開催したところ、建設重機の体験コーナー、各種展示ブースや青年部会の協力により出展されたブースでの飲食物の販売、ご当地キャラクターの集合などを通して公共事業の果たしている役割や土木の魅力を広くアピールした。また、好天に恵まれ家族連れなど約5000名が来場され、土木の魅力を堪能された。

今年は「～どんどん どぼくがすきになる～」をテーマに、建設機械体験、O×クイズ、土木学び、子ども遊び、パフォーマンスの各ゾーンで、関係団体が様々な角度から、「土木」の魅力を伝え、来場者にその役割や必要性などをアピールした。建設重機の試乗体験に長蛇の列ができるなど子供たちに大人気で、オペレーターの補助を受けながら、笑顔で操作を楽しんだ。





